

上下水道視察

7月26日今回当委員会は、上下水道について、現状調査に併せて海水淡水化施設「まみずピア」と「多々良川浄化センター」の視察を行いました。

まずは上下水道事業ですが、本町は、国鉄志免鉱業所による井戸水等の湧水補償に起因します。昭和37年から40年の3カ年で須恵ダムを築造し、計画給水人口1万人、1日最大1800m<sup>3</sup>の給水量で第1次計画が発足しました。現在の第6次拡張計画では、水道企業団から



海水淡水化施設「まみずピア」

の受水も合わせて計画給水人口2万7600人、1日最大1万2300m<sup>3</sup>の給水量となっていて、1人1日最大412リットルの供給量が可能な計算になっています。

次に下水道は「多々良川流域関連公共下水道事業」と称して平成3年から工事を開始し、平成37年をめどとしています。23年度末の整備面積は全体の50・7%で、残りの整備に取り組んでいます。

委員会レポート a committee report

学校管理職との意見交換会

8月31日（金）役場にて、学校管理職との意見交換会を行いました。

この会は、毎年、学校教育の実情と課題についての理解を深め、子どもたちの健全な育成のために、学校との連携を密にするために行っているものです。

教育目標・重点課題・学力の実態と学力向上への取り組み・豊かな心の育成や人間関係力の向上への取り組み・地域や保護者との連携や支援について各学校より報告があり、質疑が行われました。

それぞれ特色をもった学校づくりに取り組んでおり、自校の課題を分析し取り組みの強化を行っていました。

また、本年度新たな取り組みを実施し、更なる教育力の向上に努力されています。

須恵町が目指す子ども像、「感動・感謝・共感するための基本

文教厚生委員会

的な学力の育成と心の教育」の取り組みなどについて、活発に意見交換が行われ、充実した実りある会議となりました。



意見交換会の様子

議 | 長 | 通 | 信

Chairperson Communication



三角 良人 議長

全国大会への道険し

消防の夏の甲子園（私はそう呼んでいます）の操法大会が終わりました。

糟屋地区大会を制した上須恵分団が、9月9日県消防学校で行われた県大会において、完璧な操法を行いました。結果に終わりました。

操法は消防の消火活動の基本となるものです。それを正確にまた迅速に行い競い合うのが操法大会です。全国大会は、隔年で開催され自動車ポンプの部、可搬

ポンプの部が交互に開催され各部門は4年に一度開催されます。周知のとおり、一昨年は両部門とも県大会で須恵町が優勝し自動車ポンプの本部分団が全国大会に出場しました。

町大会、地区大会と約半年にわたり練習に練習を重ねてきました。その間、選手はもとより団員、またその家族の皆様がどれだけの支えになられ苦労されたことでしょう。

本当にご苦労様でした。

教育委員会委員を任命

任期満了に伴う須恵町教育委員会委員に

平松 秀一 氏（上須恵区・57歳）が再任  
今泉 靖親 氏（甲植木区・66歳）が新たに任命され

議会が同意しました。  
任期は、平成28年9月30日までです。

固定資産評価審査委員会委員を選任

任期満了に伴う須恵町固定資産評価審査委員会委員に

貝原 雅俊 氏（佐谷区・61歳）

が選任され、議会が同意しました。  
任期は、平成27年9月30日までです。

シリーズ 議会用語

「表決」とは？

議会意志を決定するため、議長の要求によって出席議員が問題に対して賛成または反対の意志を表明することをいいます。なお、「採決」とは、議長が表決をとることをいい、「表決」と「採決」は表裏の関係にある用語といえます。

お知らせ

町議会の活動状況を知るために、どなたでも傍聴できます。  
申し込みの受付は、当日、役場4階議会事務局で行っています。（予約不要）  
なお、次の定例議会は12月6日からの予定です。

すえち未来ち



No.18

作・田原ウーコ  
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。http://www.wocco.net/